

きりゅう

令和元年11月1日

No.261

市議会だより

表紙 カリカリ!もっちり!
手作りパン教室(桜木西公民館)



お知らせ

◆次回定例会の開催予定は…

11月29日(金)です。

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。

なお、会議録は桐生市ホームページからでもご覧いただけます。



キノピー

Pick up

令和元年第3回定例会は、8月28日(水)に招集され、9月25日(水)までの29日間の会期で開かれました。

- 市議会から当初予算要望を提出 …… P 2
- 平成 30 年度決算を認定 …… P 9
- 議会でインターンシップ実習 …… P12

桐生市議会は、いちばん身近な頼れる議会を目指して議会機能の充実強化に努めます。

当初予算要望書を提出

桐生市議会は9月11日、桐生市長に当初予算要望書を提出しました。要望書の内容は下記のとおりです。

平成31年4月の統一地方選により選ばれました、第25期 桐生市議会議員22名は、令和元年5月2日から新たな気持ちでスタートを切りました。

桐生市議会は、市民の皆様から信託を受け、議会及び議員としての職責を全うするため、市民と向き合う議会として、日々、議会改革に取り組んでおります。

これまで、全議員による「議会報告会・意見交換会」や「まちづくり討論会」を通じて、市民の皆様から貴重なご意見、ご要望を頂戴し、また、日頃から議員個々の活動により、地域住民からのさまざまな声に耳を傾けてまいりました。

これらの取組や活動を通じて得られた市民の声が市政に反映できるよう、議会としては、政策条例の提案や政策提言等を積極的に行うとともに、昨年度は、桐生市議会として初めて当初予算編成前に予算要望書を市長に提出いたしました。

今年度においても、当初予算要望書を市長に対して提出することを議員総意で決定し、各常任委員会において市民の声や各種団体のご意見、ご要望等を踏まえ、今、桐生市にとって何が必要か、何を進めるべきかなどについて、慎重に協議を重ね、常任委員会単位で3項目ずつ、計9項目の予算要望項目の絞り込みを行いました。

当初予算編成にあたっては、財政状況が大変厳しいことは理解しておりますが、この要望は、今後の桐生市の持続的発展や活性化等につながるものでありますので、是非とも御検討の上、令和2年度当初予算に反映していただきますよう、強く要望いたします。



I 総務委員会

◎職員研修の拡充について

SDGsや公民連携の推進など、時代の変化に対応した政策の立案や、質の高い市民サービスを提供できる職員の育成を目指し、知識の習得や先進地視察の機会拡大を図ること、及び桐生市職員不祥事再発防止調査特別委員会からの提言書をふまえた市職員としての基本的な職員研修の更なる充実を強く要望いたします。

◎公共交通等に関すること

市民生活における日常の移動手段の確保が喫緊の課題となっていることから、各鉄道やおりひめバスを基軸とした公共交通の相互連携強化に取り組むこと、及びデマンドタクシーなどにより既存の公共交通を補完する交通手段の充実を図ることについて、調査・研究の取り組みを強く要望いたします。

◎財源の確保策について

各公共施設へのネーミングライツの導入や、市内産品を活用したふるさと納税の充実等による市独自の財源確保策について、調査・研究の取り組みを強く要望いたします。



おりひめバス

II 経済建設委員会

◎他市区町村と産業振興での連携を図ること

“ものづくり”技術が集積し、本市と良好な関係にある他市区町村や先進的な取り組みを行っている他市区町村との連携を図り、産業振興について、その一助となるよう調査・研究することを強く要望いたします。

◎桐生市工場アパートの有効活用を図ること

平成11年に設置された桐生市工場アパートは、本市の地域経済の発展に期するためにも、より柔軟に入居が出来るような要件緩和等を図るなど、桐生市工場アパートの有効活用について調査・研究することを強く要望いたします。

◎道の駅「やまびこ」の施設の充実を図ること

桐生地域唯一の道の駅「やまびこ」の施設の充実を図るために、老若男女が家族連れで楽しめるような工夫を凝らした道の駅の施設設計や運営方法等について、調査・研究することを強く要望いたします。



道の駅くろほね「やまびこ」

III 教育民生委員会

◎保育士及び介護士の処遇改善・資質向上・人材確保に関すること

桐生市の将来を担う子どもの健全育成と高齢者の生活を守るうえで、保育士及び介護士の存在は必要不可欠である。桐生市独自の処遇改善を図るとともに、保育士については資質向上、また介護士については外国人を含む人材確保対策を講じることを強く要望いたします。

◎共生社会の実現に向けた障がい者スポーツの促進に関すること

誰もが夢を持ち挑戦していく心を養うことは健常者のみならず障がい者にとっても重要であり、スポーツはそのフィールドのひとつである。共生社会の実現に向け、誰もが等しくスポーツができる環境を整備し、障がい者スポーツの認知度向上と普及活動を促進することを強く要望いたします。



障害者運動会の様子

◎防災教育の充実に関すること

学校現場における防災教育の充実により、児童・生徒から、家族、更には地域の防災意識の高揚、防災力の向上へと繋げられるような、桐生市独自モデルの防災教育の事業化を強く要望いたします。



本件については、9月11日(水)議長記者会見をしました。



9月24日(火)・25日(水)の2日間にわたり、18人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の下のカッコ内は所属会派名（無会派は会派に属さない議員）



サイエンスドクター事業

者からも好評である。また、教育部門では、歴史や文化、自然豊かな桐生の街とともに歩んできた群馬大学理工学部があり、群馬大学との連携により、サイエンスドクター事業や未来創生塾など、桐生ならではの教育施策を実施することが可能となっている点も、他市にはない当市の強みであると考えている。

質問 子育て世代にあって、暮らすまぢを選ぶひとつの基準となる「子どもに対する支援」。

桐生で子どもを産み育てたいと思える環境をつくるため、今ある仕組みをベースとして「子育て・教育」に関する事業の、より一層の充実を図る必要があると考えるが、まずは多くの市民にそのクオリティの高さを知っ

**子育て・教育部
門の強み**



近藤 芽衣 (そうぞう未来)

答弁 は、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の設置及び一体的運用を中核とした妊娠から子育てまでの切れ目ない支援の充実。また、放課後児童クラブでは、学校敷地内の余裕教室を活用しクラブ室を確保し、利用希望者を全て受入れており、待機児童は発生していない。よって、就学前の幼稚園、保育園などから小学生まで（0歳から12歳まで）の待機児童がゼロであり、首都圏などからの転入者からも好評である。また、教育部門では、歴史や文化、自然豊かな桐生の街とともに歩んできた群馬大学理工学部があり、群馬大学との連携により、サイエンスドクター事業や未来創生塾など、桐生ならではの教育施策を実施することが可能となっている点も、他市にはない当市の強みであると考えている。

質問 令和3年4月に、統廃合により新高校は桐生清桜高校へ移行し、場所は現在の西高校に設置されることが決まっている。新高校では2クラス増えることになり、運動公園内を通過し新高校まで通学する生徒も増えることが予想される。

また、地元説明会においても、運動公園内の道路は一部通学路になっており、道路が狭いという点で歩道設置の要望がある。歩行

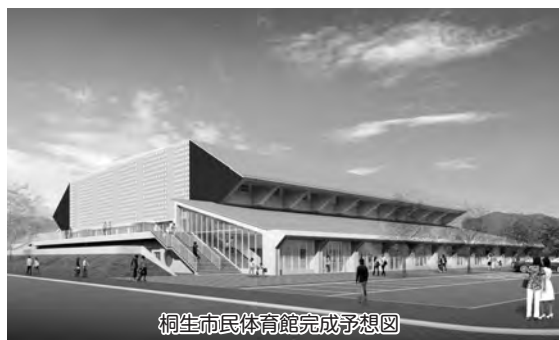
答弁 令和3年4月に、統廃合により新高校は桐生清桜高校へ移行し、場所は現在の西高校に設置されることが決まっている。新高校では2クラス増えることになり、運動公園内を通過し新高校まで通学する生徒も増えることが予想される。

また、地元説明会においても、運動公園内の道路は一部通学路になっており、道路が狭いという点で歩道設置の要望がある。歩行

運動公園内、周辺の歩道新設と雨水対策について



福島 賢一 (クラブ21)



桐生市民体育館完成予想図

者の安全確保の観点からも、運動公園内の歩道の設置については、体育館工事費全体の中で整備できるように検討していきたい。

運動公園敷地内の雨水対策について、雨が降った際に現地確認したところ、道路脇の歩道部分に水溜まりができていた状況を確認した。道路の排水機能の不足によるものが原因であり、その対処について関係各課と協議しているところである。

球場前駅の前面については、早急に現地調査を実施し、今年度中に断面や排水ルート等の検討を実施したいと考えている。



石渡 宏明 (創志会)

スポーツを通じた共生社会の実現

質問 当市が生涯スポーツを推進する上での基本的な考えとその主な取り組み内容は。

答弁 市民が生涯にわたりスポーツに親しめるよう「いつでもどこでもスポーツを」をスローガンとし障がいを持つ人を含む全市民にスポーツの機会を提供するため市民体育館、陸上競技場の整備に取り組んでいる。なお東京オリ

ピック・パラリンピックで聖火ランナーが当市を通過するとの発表があり、その成功に向けて現在、関係機関との連携も密に取り組んでいる。

質問 これらの取り組みが一過性のもの

ではなく、継続性、永続性が大事であると思うが、今後のあり方は。

答弁 スポーツを通して共生社会の実現に取り組んでいくことは重要である。当市にはポッチャで全国好成績を収めた児童や、パラリンピック出場に向けて励む強化育成選手がおり、それらの姿に触発された市民レベルの参加者も増えている。また、群馬県内には知的障がいのある人たちの健康増進、自立と社会参加を図ることを目的に設立され、水泳等で



ポッチャをしている様子



東京国際ナショナル・ギフト・ショー



丹羽 孝志 (公明クラブ)

事業承継等の相談窓口

質問 事業承継等をすすめるための相談窓口はどこにあるのか。

答弁 桐生商工会議所の経営相談員や桐生市インキュベーションオフィスの企業支援コーディネーター、桐生信用金庫が設置する「Kirico's 桐生」にて相談を受けている。

また、県では、県内市町村等で組織する「事業承継ネットワーク」を構築し、専門家派遣等の事業を行っている。群馬県産業支援機構内には、群馬県事業引継支援センターや、よろず相談窓口等を設置している。

活動している特定非営利活動法人スペシャルオリピックス日本・群馬もあり、そうした活動に關し各種競技団体にも協力をいただき継続的な推進を今後も図ってまいります。

質問 対象となる地域及び受信障害が生じた場合の対応等は。

答弁 発生の際は、錦



正 男 (そうぞう未来)

テレビ受信障害対策

質問 概要と周知について。

答弁 地上アナログ放送から地上デジタル放送への移行に伴い、空いた700MHz帯の周波数へ、携帯電話の周波数の移行を実施しており、テレビアンテナに付属するブースターが古い場合、テレビの映像が乱れるなどといった影響が発生する恐れがあるため、平成30年7月から4回にわたり、区長連絡協議会への説明とチラシの配布を行った。また、一般法人700MHz利用推進協会が、対象となる地域などへ、1回につき約5万枚のチラシを配布した。



テレビアンテナ

- ◆ その他の質問項目
- ◆ ハイキングコースについて
- ◆ 電池の捨て方について



工藤 英人
(創志会)

ワンストップ相談システムの構築

質問 子育ての悩みを
含めた総合相談窓
口開設の動きについて近
隣他市の状況は。

答弁 館林市では今秋
から子ども総合相
談窓口を設置し相
談対応する動きがある。
また、高崎市や渋川市で
はすでに子育てを中心と
したワンストップ相談窓
口を設置している。

質問 児童・生徒の悩
み相談や子育てで
悩む保護者などが相談
できる窓口を一本化と
する当市独自のワンス
トップ相談システムの
構築の考えは。

答弁 子どもたち
や保護者が相
談しやすいシステムの
構築は大切なことであ
ると認識している。教
育委員会としては、保
健福祉会館内に設置さ
れている「子育て世代
包括支援センター」と

連携強化を深めるとも
に、現在ある教育委員会
内の相談窓口や支援体制
の再整備について早急に
研究したいと考えている。

アクティブ・ラーニング

質問 アクティブ・ラ
ーニングの考え
方について。

答弁 「課題の発見・
解決に向けた主体的・
協働的な学び」とい
う意味で使われている。
小中学校の新学習指導要
領では「主体的・対話的
で深い学び」という言葉
でアクティブ・ラーニン
グの視点を取り入れ、授
業改善を進めている。



桐生市役所



渡辺 恒
(日本共産党議員団)

保育士の確保と処遇改善

質問 保育士の賃金に
地域格差がある。
また、全国どこでも生活
するには、23万円〜25万
円必要である。これを保
障しなくてはならないの
ではないか。国の処遇改
善加算だけでは不十分で
はないのか。自治体に
よっては、独自に支援し
ているところもある。市
が独自に加算すべきと考
えるかどうか。

答弁 水道山公園のツ
ツジの剪定につい
ては、年2回行っており
6〜8月の間に弱剪定を、
10月〜12月の間に強剪定
を実施している。また、
下草刈りは、年1回、8
月〜9月の間に実施
し、指定管理者が維
持管理に努めている。
指摘の箇所は、今
年度まだ下草刈り作
業を実施していない
ため、下草などが例
年より茂っている状
況である。今後は、
下草刈りの作業を早
急に実施し、利用者
の皆様が公園を快適
に利用できるよう努
めていく。



水道山公園

水道山公園の整備

質問 植栽されている
ツツジ群に草木が
繁茂しているが、公園内
の整備はどうなっている
か。

答弁 水道山公園のツ
ツジの剪定につい
ては、年2回行っており
6〜8月の間に弱剪定を、
10月〜12月の間に強剪定
を実施している。また、
下草刈りは、年1回、8
月〜9月の間に実施
し、指定管理者が維
持管理に努めている。
指摘の箇所は、今
年度まだ下草刈り作
業を実施していない
ため、下草などが例
年より茂っている状
況である。今後は、
下草刈りの作業を早
急に実施し、利用者
の皆様が公園を快適
に利用できるよう努
めていく。

答弁 市単独の補助に
ついては、近隣自
治体と保育士の奪い合い
になる懸念があり、国が
十分な対策を取るべきと
考えている。



田島 忠一
(そうぞう未来)

橋梁の整備

質問 桐生市橋梁長寿
命化修繕計画にあ
る建設後50年を超えた高
齢化橋梁の中で架け替え
が必要となる橋はあるか。

答弁 計画の対象とし
た、橋長が15m以
上の橋梁は、68橋あり、
供用開始後50年を経過す
る橋梁、9橋のうち4橋
については、定期点検結
果に基づき損傷部位の修
繕工事を完了している。
残りの5橋についても定



修繕工事を完了している広見橋

非常用発電機

質問 庁舎地下にある
非常用発電機の試
運転や点検をどのよう
に行っているのか。

答弁 試運転について
は、毎月25日前後
の開庁日に実施している。
また、点検については、
保守点検委託業者が、庁
舎への電気の供給を止め
て、非常用発電機を起動
させ電気を全庁へ供給で
きるかの確認をする総合
点検を毎年9月の閉
庁日に実施している。
また、全庁へ非常用
発電機の電気の供給
はしないが、非常用
発電機が正常に作動
するかを確認するた
めの簡易点検を毎年
3月の閉庁日に実施
しており、万一に備
え定期的に非常用発
電機の保守及び作動
点検を行っている。

期点検結果に基づき、損
傷部位を把握し、必要に
応じて修繕を行う。なお、
現在は老朽化等による損
傷が著しく架け替えの必
要性がある橋梁はない。



園田 基博 (創志会)

政策検討会議

質問 政策検討会議の成果及び必要性は。

答弁 代表的なものを挙げる、キノピーランドの開設、中学生海外派遣事業創設、市民体育館等建設、きりゅう暮らし応援事業の内容見直しなどが、この会議で多角的な視点から検討され、建設的な意見交換によりブラッシュアップされた形で事業実施に

至ったことは一定の成果であった。この会議によって幹部が部局横断的に検討を行い、施策の方向性について共通認識を持つことは類似事業の重複を防ぎ、部局間連携や効果的・効率的な事業を推進する上で大変有意義なものであった。

質問 政策検討会議の成果効果を踏まえ、どのように市長公約検討チームを進めていくのか。

答弁 9月末を目途に検討結果をまとめ、その後、これまで蓄積した政策検討会議のノウハウを生かし、(仮称)市長公約推進会議を開催し、検討結果をさらに大局的な見地でブラッシュアップした後に、行政案としてまとめ、市民に公表したい。その後、市民ニーズの動向や実現性等を勘案し、優先的に取り組むべき案件については令和2年度当初予算編成に合わせて具現化を検討したい。

○その他の質問項目

- ◆就労支援
- ◆移住支援
- ◆断らない相談



キノピーランド



河原井 始 (クラブ21)

桐生厚生総合病院

質問 ここ数年、医師不足のため、市民をはじめ多くの患者に迷惑をかけている。そこで、私たちができることは、医師が働きやすい環境をつくる必要があると考えている。具体的には、「入院中の患者や家族が病状を聞く時に、医師が時間外労働にならないように、勤務時間内に病院に行くこと」、「夜間や休日に受診するか迷った場合、#8000(こども医療でんわ相談)に電話するか、できるだけ日中に受診すること」、「かかりつけ医を持つこと」、「医師へ感謝の気持ちを伝えること」である。特に、かかりつけ医を持つことは、大切にあり、かかりつけ医を選ぶ目安としては、

①何でも相談できる

①何でも相談できる

①何でも相談できる

①何でも相談できる



桐生厚生総合病院



飯島 英規 (無会派)

桐生市シティブランドディング戦略

質問 桐生市シティブランドディング戦略に統一されたブランドメッセージがないが、中沢ビジョンが示す桐生オンラインワンブランド「1300年のシルクタウン桐生」をブランドメッセージとして受け入れたらどうか。

答弁 ブランドメッセージは、単に市の特徴や多くの人が持っている共通のイメージにとどまらず、今後このようなまちを目指すという将来に向けた思いを込めるとともに、より多くの共感を得ていくことが重要と考えている。キャッチフレーズを作る場合には、中沢氏の提言も含め、広く市民の声を聞き、メッセージを通じて賛同者を増やすことはもとより、多くの人達が抱く桐生の印象をより良い

ものにしていけるものを作ることが望ましいと考えている。

質問 重伝建地区で月一度歩行者天国を実施するために解決すべき課題は何か。実現に向けて前進できないか。

答弁 交通規制を管轄する警察署等の関係機関との調整や沿線住民の理解が大前提となる。また、行政が主導的にイベントを実施するのではなく、公民連携推進の観点から市民団体等に行政が支援する考えのもと、まちなかの賑わい創出に向けて取り組みたい。

①何でも相談できる



市内の重伝建地区



人見武男 (創志会)

フッ化物洗口

質問

歯の健康が体の健康につながっていると考えます。黒保根小学校では合併前からの取り組みとして、また桐生南小学校では平成30年度は歯科医師会が県の補助金で歯科衛生士を1人雇って実施し、今年度は学校歯科医の指導の下でフッ化物洗口を実施しているようですが、今後、市内小中学校で実施することについて当局の見解は。



フッ化物洗口の様子

で、各家庭において取り組んでいただけるよう、保護者への啓発を進めていきたい。また、今後、学校を会場としてフッ化物洗口を集団で実施するために、先生方がかわらざるに実施できる条件の整備が必要であると考えている。学校規模や地域の実情も異なっており、一概には言えないが、安全に実施するための人的配置や、授業時間外での実施など、先生方の負担がなかつ持続可能な条件を整え、学校での集団実施も可能であると考えます。学校で実施するための、持続可能な条件を整えるためには、歯科医師会、各学校の学校歯科医の先生方や保護者地域の皆様の理解と協力が必要になるので、今後関係各所と協議・研究を重ねてまいりたい。

回答

小中学校において現在できることは、フッ化物の応用についての方法やその効果等について、各学校の保健だより等に掲載すること



新井達夫 (そうぞう未来)

水沼定住促進住宅

質問

本住宅は約2年かけて整備されたが、いまだに5戸が空いたままになっている。一刻も早くこれを解消し、児童生徒数を増やすことが地域活性化に繋がると思うが、これからの取り組みは。



水沼定住促進住宅

親子が多く集うイベント会場や桐生八木節まつりのジャンボパレードやくろほね夏まつり会場でのPRや、

質問

今年度中にサル檻を設置すると聞いているが進捗状況等は。

サル檻

質問

桐生市鳥獣被害防止対策協議会において、国の鳥獣被害防止総合交付金を活用して移動式サル檻を購入することに、県を通して国に要望を

回答

している。国の鳥獣被害防止対策協議会に設置場所等の検討を行い、年度内に設置完了できるように考えている。サル檻は組み立て式で簡単に設置が可能な檻で横幅4m、奥行6mの24㎡の大きさで、高さが2・6mの捕獲檻を予定している。

国に要望を



山之内 肇 (公明クラブ)

持続可能な開発目標

質問

持続可能な開発目標(SDGs)とは、全ての国連加盟国が目指す、「未来の姿」その達成に向けて、多くの市民が自分ごととして実践していきけるよう、市がリーダーシップを発揮し、情報発信や啓発をさらに強化すべきと考え

回答

SDGsの要素を反映した次期総合計画に基づき着実な推進を図り、当市の持続可



SDGsロゴ

質問

当市の事業所がSDGs達成に取り組むことを後押しする施策の推進を強く願うが。

回答

企業におけるSDGsの推進は、市内企業の成長にとって重要であると認識しており、ビジネス機会の創出や企業価値の向上などの効果も期待できることから、推進できる

こと、情報発信に努め、環境整備について研究していきたい。

その他の質問項目

SDGs達成に向けた教育分野における取り組み、ESDの推進、桐生市を「ゴミのない日本一美しいまち」にする取り組みなど



佐藤光好 (創志会)

青少年野外活動センター

質問 施設の沿革について。

答弁 当センターはキャンプ活動等の野外活動を通じて、青年の心身の健全な育成を図ることを目的に平成5年に開設され、平成18年に県から移管された。

質問 施設の老朽化の状況と改修工事内容について。

答弁 平成18年以降、老朽化が進んだ箇所について順次改修工事を行っている。主な工事はプレイホール天井改修、宿泊室畳替え、厨房内消火栓箱改修、泊棟の照明修繕等を行った。来年度以降も冷暖房機交換や浴槽の改修工事等を予定している。



野外活動センター



久保田裕一 (そうぞう未来)

新里福祉センター

質問 6月に新里福祉センターの入浴施設が休止してから、多くの市民から「現状はどうなっているのか」、「いつ再開するのか」といった声を多数いただいている。入浴施設の再開を望む市民の声に真摯に耳を傾ける中で、施設の存続に向けた工事の早期実施を強く望むところであるが、当局の見解は。

答弁 入浴施設は、現しが立っておらず、その対応について検討をしている。入浴施設を再開するためには、配管の布設替えなど、大規模な工事が必要となり、多額の財源を確保することが求められる。今後は、経緯や地域住民のニーズなどを十分に踏まえながら、公共施設等総合管理

質問 ヘルプマークの申請方法等は。県内に居住してヘルプマークを提示することで援助や配慮を必要とする人であり、障害者手帳を所持していなくても交付対象となる。市内の配布場所は市役所福祉課、健康づくり課、新里・黒保根支所、桐生保健福祉事務所である。交付には申出が必要となり、窓口でお渡しする申出事由等確認票を記入して提出していただく。



新里福祉センター

計画の方針に沿って検討していきたい。

ヘルプマーク

質問 ヘルプマークの申請方法等は。

答弁 県内に居住してヘルプマークを提示することで援助や配慮を必要とする人であり、障害者手帳を所持していなくても交付対象となる。市内の配布場所は市役所福祉課、健康づくり課、新里・黒保根支所、桐生保健福祉事務所である。交付には申出が必要となり、窓口でお渡しする申出事由等確認票を記入して提出していただく。



関口直久 (日本共産党議員団)

中小企業発展させるまちづくり

質問 循環型経済の確立に向け、当市で生産された商品を地産地消という形で、地域で活用されるためにどのような取り組みをしているのか。

答弁 市内で生産された製品、サービスについて、地域内で活用が進む仕組みとしてビジネスマッチングフェアを当市と商工会議所、桐生信用金庫等が共催で開催



ビジネスマッチングフェア

質問 備前計画の早期策定と着手の予定は。

答弁 備前計画の早期策定と着手の予定は、桐生土木事務所から、限られた予算の中では早期の整備は難しいと伺っている。しかしながら、県としても整備の必要性は認識しており、現在大型土のうで対応している箇所は今年度の非出水期に災害復旧工事として整備できるよう進めていると伺っている。

質問 備前計画の早期策定と着手の予定は。

答弁 備前計画の早期策定と着手の予定は、桐生土木事務所から、限られた予算の中では早期の整備は難しいと伺っている。しかしながら、県としても整備の必要性は認識しており、現在大型土のうで対応している箇所は今年度の非出水期に災害復旧工事として整備できるよう進めていると伺っている。



司 公 代 歌
(無党派)

鳥獣被害対策について

質問

小規模農村整備事業の中で鳥獣被害から農地を守るための電気柵など設置補助事業の申請件数及び被害状況は。

答弁

本事業は、平成28年度から実施されており、平成28年度が2件、平成29年度が2件、平成30年度が1件である。また、被害は、年々拡大しており、新里町では、北部の山間部から徐々に南下している状況である。

質問

補助事業の採択要件に受益戸数が2戸以上とあるが、その経緯と柵設置後の補修は。

答弁

本事業は、県の補助事業であり、地区設定の要件として個々の農地を囲うことは、被害が隣の農地へ拡散し、すり替えを招くこととなること



電気柵

質問

イノシシによる堤防弱体化の対策は、どのようにしているのか。

答弁

国土交通省渡良瀬川河川事務所に確認したところ、堤防の強度低下を招いているところを重点的に補修し、補強シートで保護する工事を行っていると同つて

平成30年度 決算を認定

平成30年度桐生市歳入歳出決算及び桐生市水道事業会計決算については、それぞれ賛成多数で認定しました。

同決算の認定にあたっては、市長による平成30年度決算総括、監査委員による審査報告の後、決算特別委員会(委員19人で構成)を設置し、3日間にわたり慎重に審査を行いました。なお、本会議における討論の概要は下記のとおりです。

賛成討論

Agree

平成30年度桐生市歳入歳出決算については「桐生市・まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく、人口減少対策に効果を発揮する為、桐生市ならではの地方創生に向けた様々な施策が予算化された。

当局においては予算執行にあたり様々な創意工夫の基、適切な歳出抑制に努められ実質収支額が25億3822万5478円の黒字となり、前年度に比べて6億3502万3176円の増額となり、効率的な事業運営に努められたことを高く評価する。

また、健全化判断比率においては実質公債比率、将来負担比率とも年々改善されており、特に将来負担比率については起債残高の減少や土地開発公社の負債額等負担見込額がなくなり改善が進んだが、今後は公共施設の建設による財政負担が見込まれており、より一層の健全な財政運営に取り組んでいくべきと思う。

複合木材市場整備支援においては森林環境の整備や木材生産活動の活性化を図る為、高質材から低質材まで取り扱う複合木材市場の整備に対しての支援を実施するという事で、運営に十分注視して頂き今後の展開を楽しみにしている。

広域的な視点かつ、将来を見据えた地域の特徴に応じ街づくりにおいては、若い世代からの生活習慣病予防への取り組みを促進するための若年層を対象とした検診事業、自治会の防災活動を支援するための自主防災事業助成金は今後においても欠かせない事業と考える。

多様化する市民ニーズに応じていくため、当局一丸となり職員一人ひとり経営感覚と責任を持ち、これまで以上に事業の選択と集中を高め、限られた財源の中で効率的かつ効果的な事業運営に努めることを要望する。

反対討論

Opposition

地方交付税は毎年減少を続けている。平成30年度では97億9,800万円余りとなり、前年比2億9,900万円の減少である。地方独自の施策が実施できる予算が削減・縮小されることは、地方自治の本旨に反するものであり、国に対し

地方交付税の引上げを強く要望する努力を引き続き求める。

また、桐生市行政改革方針では10年間で71億円の財源不足が生じると財政推計シミュレーションで示している。この計画を進めれば進めるほど人口減少と市民負担増大につながるもので、この計画は改めるべきである。

子育ての問題では、学校給食費の無料化の実施、保育料の負担軽減、保育士の確保と処遇改善を進め、子育て中の父母を応援する施策に踏み出すべきである。

また、住みやすさの問題では、市内どこに住んでも住みやすいまちを作ることが重要と考える。今年の4月1日現在の高齢化率は35.23%で、桐生市は県内12市で1位である。だからこそ、高齢者の移動の自由を確保することが大切であり、おりひめバスの一層の充実やデマンドタクシー、さらにタクシー券の配布など早期に進める必要がある。

議案番号・議案	議員氏名	議案と結果													結果								
		石波	工藤	飯島	歌代	波辺	関田	園見	近藤	久保田	辻正	田島	丹羽	山之		佐藤	佐藤	北川	新井	岡部	河原	福島	周藤
		宏明	英規	英規	公恒	直久	基博	武男	芽衣	裕一	正一	忠志	孝肇	幸雄	光好	久人	達夫	純朗	純朗	賢一	雅彦		
議案第45号	職員の分限に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第46号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第47号	桐生市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第48号	桐生市消防団条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第49号	桐生市市税条例等の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第50号	桐生市市営住宅条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第51号	桐生市下水道条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第52号	桐生市水道事業給水条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第53号	桐生消防署東分署建設建築主体工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第54号	桐生市印鑑条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第55号	令和元年度桐生市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第56号	令和元年度桐生市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第57号	平成30年度桐生市歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第58号	平成30年度桐生市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第59号	平成30年度桐生市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第60号	副市長の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	△	△	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	△	○	同意
議案第61号	令和元年度桐生市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第62号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
提議員	議第8号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

市議会は、次の要望書を群馬県知事に送付しました。

豚コレラ等発生防止に係る要望書

豚コレラ対策については、迅速な各種補助事業の実施をご英断いただき、深く感謝申し上げます。

さて、昨年9月に岐阜県で豚コレラが発生して以降、現在10府県で感染が確認されており、9月13日には関東での初感染が、10月3日には群馬県においても野生イノシシから豚コレラの抗体陽性が確認されるなど、感染区域は拡大の一途を辿っており、未だ終息の気配すら見られません。中国及びその周辺国で蔓延しているアフリカ豚コレラも、9月には韓国で初感染が認められるなど、桐生市養豚農家からは不安の声が上がっています。

ひとたび桐生市に特定家畜伝染病が入ってしまうと、全養豚農家が搬出制限区域内に入ってしまう、清浄確認されるまでの間は経済活動がストップしてしまうなど、壊滅的な打撃を受けてしまいます。予防対策を万全にするためにも、国が下記の措置を講ずることを強く要望致します。

以上、畜産県知事としての発信をお願いいたします。

記

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| 1 豚コレラワクチンについて、群馬県における早期接種の実施 | 4 群馬県境の消毒ポイントにおける畜産関係車両の消毒の徹底 |
| 2 豚コレラワクチン接種費用の補助 | 5 アフリカ豚コレラへの水際対策として、検疫強化の徹底 |
| 3 豚コレラは人間には感染しないことの周知徹底と風評被害の防止 | |



この定例会では、次の意見書を可決し、内閣総理大臣ほかに送付しました。

意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書

地方自治体は、子育て支援策の充実と保育人材の確保、高齢化が進行する中での医療・介護などの社会保障への対応、地域交通の維持など、果たす役割が拡大する中で、人口減少対策を含む地方版総合戦略の実行や、大規模災害を想定した防災・減災事業の実施など、新たな政策課題に直面しています。

一方、地方公務員をはじめとした公的サービスを担う人材に限られる中で、新たなニーズへの対応と細やかな公的サービスの提供が困難となっており、人材確保を進めるとともに、これに見合う地方財政の確立を目指す必要があります。

しかし、一般財源総額の増額分も、保育の無償化などの国の政策に対応する財源を確保した結果であり、社会保障費関連をはじめとする地方の財政需要に対応するためには、さらなる地方財政の充実・強化が求められています。

このため、2020年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立を目指すことが必要です。このため、政府に以下の事項の実現を求めます。

記

- 1 社会保障、災害対策、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保を図ること。
- 2 子ども・子育て支援新制度、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの構築、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保及び地方財政措置を的確に行うこと。とりわけ、保育の無償化に伴う地方負担分の財源確保を確実に図ること。
- 3 地方交付税における「トップランナー方式」の導入は、地域によって人口規模・事業規模の差異、各自治体における検討経過や民間産業の展開度合いの違いを無視して経費を算定するものであり、廃止・縮小を含めた検討を行うこと。
- 4 「まち・ひと・しごと創生事業費」として確保されている1兆円について、引き続き同規模の財源確保を図ること。
- 5 2020年度から始まる会計年度任用職員の処遇改善のための財源確保を図ること。
- 6 森林環境譲与税の譲与基準については、地方団体と協議を進め、林業需要の高い自治体への譲与額を増大させるよう見直しを進めること。
- 7 地域間の財源偏在性の是正のため、偏在性の小さい所得税・消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、抜本的な解決策の協議を進めること。
- 8 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化を図り、市町村合併の算定特例の終了を踏まえた新たな財政需要の把握、小規模自治体に配慮した段階補正の強化などの対策を講じること。
- 9 依然として4兆円規模の財源不足があることから、地方交付税の法定率を引き上げ、臨時財政対策債に頼らない地方財政を確立すること。
- 10 自治体の基金残高を、地方財政計画や地方交付税に反映させないこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

【提出先】○内閣総理大臣 ○総務大臣 ○財務大臣 ○文部科学大臣 ○厚生労働大臣 あて

》 請願の審査結果 《

この定例会では、請願1件の審査を行い、その結果、閉会中の継続審査となりました。

◎継続審査となった請願

付託委員会	受理番号	件名
総務委員会	第1号	「『核兵器禁止条約の署名・批准を求める』意見書」を政府にあげる事の採択を求める請願

副市長
森山 享大氏 (新任)

教育委員会委員
板橋 英之氏 (再任)

市議会は、次の人事案件2件に同意しました。

人事案件

議会 インターンシップ実習

桐生市議会では、市議会や議員の仕事や役割を知っていただくとして、中学・高校・大学生の就業体験やインターンシップ実習生を受け入れています。今回は、高校生2名、大学生2名に議会事務局の仕事を体験していただきました。



大学生：正副議長との意見交換



高校生：行政視察の受入準備



高校生：正副議長との意見交換

第28回議会報告会・意見交換会

日時 令和元年11月15日(金) 午後6時～午後7時10分(予定)

場所 黒保根支所2階 山村開発センター：研修集会室

申し込みなどはございませんので、直接会場へお越しください。

議員による寄附や年賀状などは法律で禁止されています。

公職選挙法により、議員は次のことを禁止されています。市民の皆さんのご理解をお願いします。

- ◎ 年賀状などのあいさつ状を出すこと。(答礼のための自筆によるものは除きます)
- ◎ 寄附をすること。
- ◎ 本人が出席しない慶弔に祝儀や香典を出すこと。

全員協議会

市議会は9月11日(水)に全員協議会を開催し、下記の件について当局から説明を受けました。

桐生市第六次総合計画行政案の意見提出手続(パブリックコメント)の実施について



市民の皆様におかれましては、平素より市議会に對しまして、深いご理解とご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。さて、今回の第3回定例会は平成30年度の予算執行状況を審議する決算議会でありました。正副議長と監査委員を除く議員19名が特別委員会を設置し、各議員が持ち時間の中で、様々な質問をし、認定をされました。また、市長に對し当初予算要望を提出することを議員総意で決定をし、今後の桐生市の持続的発展や活性化等につながるよう市議会として、しっかりと提言させていただきました。その反映結果については、来年度予算案の審議の中で、しっかりと議論を深めてまいります。今後ともご支援をよろしくお願い致します。



岡部 純朗 副議長

ごあいさつ

議員改選後、早5か月が経過し、常任委員会及び特別委員会の委員も決まり、本格的に活動をしております。第3回定例会では、各一般議案も原案どおり可決し、30年度決算議案も認定されました。今議会において市民の皆様が最も注目された副市長の人事案件も、多くの質疑答弁を繰り返した後、賛成多数で同意され、執行部人事もすべて決定し、新体制で活動が始まりました。今後、当局と議会が力を合わせ安全で安心な市民生活ができますよう、尚一層努力をいたしますので、ご理解ご支援をお願い申し上げます。



北川 久人 議長

桐生市議会

検索

<http://www.city.kiryu.lg.jp/shigikai/>



LINE



フェイスブック



ツイッター